

グリーンポイントクラブの社会発信

2013年9月24日に早稲田大学にて開催されたシンポジウム「アジア圏における安全・安心な資源循環システムの構築に向けた現状と展望(主催:早稲田大学重点領域研究機構 循環型環境経済共創システム研究所)」において、グリーンポイントクラブの清水信夫会長が講演を行いました。

シンポジウムには、大学関係者、行政関係者、リサイクル業者など約100名の方が参加されました。

講演題目は「リユースの促進による自動車リサイクルの高度化～グリーンポイントセンターの構築に関する実証～」として、リ協で平成24年度に実施した環境省事業の成果報告を行いました。

シンポジウムでは、自動車リサイクル法に深く関わる早稲田大学永田勝也教授も講演され、循環型社会の形成に向け、さまざまな関係者が利害関係を調整しつつ、共通の目標を達成する「共創」についてお話しされました。自動車リサイクル部品については、解体業者間の競争から、新たな業種の参入により、業界間の競争へと移行しつつあります。業界内部のコンセンサスを取りながら、業界が一体となり、業界の競争力向上の目標を達成していくことが必要であることが示唆されます。

次回は、今後の自動車リサイクルにおいて解体業に求められる役割について、永田勝也教授にインタビューする予定です。



グリーンポイントクラブ参加企業のCO2削減効果(2013年6月～8月)

12団体		6月	7月	8月
販売点数	中古部品	246,179 (98.6)	324,655 (126.6)	287,917 (114.4)
	リビルド部品	37,582 (101.8)	47,412 (110.7)	44,725 (103.1)
	合計	283,761 (99.4)	372,067 (124.3)	332,642 (112.7)
グリーンポイント CO2削減効果数値	kg-co2	11,550,707	13,091,544	11,263,205
	t-CO2	11,551 (100.5)	13,092 (108.9)	11,263 (98.1)

※左記の販売点数は、同業者間を除く整備事業者などへ販売した点数で、NGP・SPN・JAPRA・JTPの各システムより提供いただき、集計した数値です。
※()は前年同月比

グリーンポイントシステム:営業ツールとしての有効活用①

グリーンポイントシステムは、部品販売時のCO2削減データに加え、「廃車適正処理の再資源化によるCO2削減効果数値」が算出できます。ELV入庫促進ツールとして活用してみたいはいかがでしょうか？システム画面の右上の「画面切替」でメニュー表示されます。くわしくはマニュアル参照をお願いします。

